

ごあいさつ



本町では、令和3年3月に令和3年度から令和12年度までの10年間のまちづくりの目標と方向性を示す「第5次総合振興計画」を策定してから5年が経とうとしています。

この間にも、物価高騰や毎年のように起こる大雨災害、昨年12月に発生した「青森県東方沖地震」、さらに加速する少子高齢化・人口減少など、本町を取り巻く環境は時代の流れとともに変化し、依然として厳しいものがあります。

この5年の間に、本町では青森県で初となる「義務教育学校」である「義務教育学校六戸学園」の開設に向けて準備をし、令和7年4月に開校いたしました。「みる・しる・とぶ」を教育理念として、変化の激しい社会の中であっても子どもたちの「生きる力」を育むための教育活動を展開していきけるものと大きな期待をしています。

まだ開校したばかりのこの学園を、地域に住まう方々と育み、よりよいまちにアップデートするための今後5年間の指針として、「第5次総合振興計画後期計画」を策定しました。

この計画は、基本構想に掲げた「『住まうまち』としての質の向上」、「『活力と交流』の創出」、「『自律』のまちづくり」の3つの原則に基づき、「健康で安心・安全に暮らしていきけるまちづくり」、「稼げるまちづくり」のために、行政はもちろんのこと、町民の皆様がふるさとの住みよさを感じながら、誇らしく、納得できる地域を、皆様とともに創り、ともに育みたいという想いを込めて策定しています。

皆様には、今後とも一層のご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、ご審議を賜りました町総合開発審議会委員の皆様をはじめ、町民アンケート、小・中学生アンケート、パブリックコメントなどにおいて貴重なご意見やご提言をいただきました皆様に心から感謝を申し上げます。

令和8年3月

六戸町長 佐藤 陽大